



だより



R6.10.8 Vol.22

いよいよです！

今日が市内陸上運動記録会の予定だったのですが、天候不良のため、水曜日に延期されました。本校からも16名の子供たちが出場しています。上位入賞、自己記録更新ができていますね。

何度か練習の様子も見に行っていたのですが、水泳練習と同じく、手を抜く子がいません。いい記録を出したい、速く走れるようになりたい、そんな気持ちが伝わってくる練習風景でした。

これまでの私自身の指導経験の中、別にやりたくないけど、やっている。そんな態度の子もいないわけではありませんでした。ただやはり、それでは記録が伸びることもなく、達成感や充実感もなく活動が終っていたように思います。もちろん、それを味わわせてやるための指導力の向上

は言わずもがなです。指導の先生方と共に頑張った真穴っ子たち！本番！より速く、高く、遠くに！活躍を願っています。



クラムボンは笑ったよ

「クラムボンって何だよ？」数十年間、時の小学生や教師を悩まし続けたワードですね。6年生国語教材「やまなし」にでてくる正体不明の何かです。(笑)

校内を回っていると6年生がその「やまなし」の音読をしていました。生と死、静と動を象徴するものであるとか、架空のキャラクターであるとか、水中の生物であるとか、様々な解釈がなされています。その正体を突き止めるのではなく、何だろうと想像して楽しむ！それが答えじゃないかなあと私は思っています。「藤田先生は笑ったよ。」「藤田先生はかぶかぶ笑ったよ。」「それなら藤田先生はなぜ笑ったの。」「知らない。」そんな感じでいい気がします。(笑笑)何年経っても、あれって何だったんだろうね？と記憶に残ることが素敵ですよ。

四方山話真穴 ver. 其の二十二(デジタルデトックス)

休日、動画投稿サイトで「無人島サバイバル！」なんて動画を見ていると、「ここでの生活はデジタルとは無縁です。まさに今、デジタルデトックス中！」なんて語りが入りました。体の老廃物を排出することをデトックスと言いますね。サウナでデトックスなんて話も聞きますが、実は汗から排出される老廃物は体全体の3%とか、説によっては0.02%とか…。(デトックスという面では効果は薄いようです。)そして、最近よく聞く言葉が前述のデジタルデトックス。生活からデジタルを取り除く時間を作りましょう！みたいな感じでしょうか。が、動画にその様子を収めている道具が「すでにデジタルやーん！」という笑えない話になっています。(笑)

体の老廃物が排出されるのは、それが有害なものであったり、不要物であったりするからに他なりません。しかし、自分たちが追い求め、ここまで生活の隅々までいきわたり、それを便利にしているデジタルをなぜわざわざデトックスなのか？考えようによってはおかしい話です。

有名な話なのでご存じの方も多いと思いますが、アップル社の創始者、スティーブジョブズ氏は我が子にスマホを触らせませんでした。マイクロソフト社のビルゲイツ氏も我が子が14歳になるまでスマホを与えませんでした。時代の寵児となったIT企業のトップは我が子にスマホを与えていません。デジタルの誘惑に人間は簡単に負けてしまうこと、デジタル機器を使用することで脳内から快楽物質(ドーパミン等)が放出され、やめるにやめられない状況に陥ることをその開発者たちは分かっているのです。(いろいろな依存症の図式に似ています。)

一説によると、江戸時代の日本の暮らしが自然にも人間にもとても優しい、最近の言葉でいえばサステイナブルな生活だったそうです。そんな暮らしができれば、環境問題もデジタル依存も、全て片付いてしまうのでしょうけど、今更無理！デジタルが切り離せない社会になっています。が、「今、必要なのか？」「これでいいのか？」という考えは常に持ち、子供にも投げかけていきたいものですね。